

# 社会資本総合整備計画 事後評価

市民との協働を目指した安全・安心の元気なまちづくり

平成 29年 3月

長野県東御市

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	1 市民との協働を目指した安全・安心の元気なまちづくり										重点配分対象の該当						
計画の期間	平成24年度～平成28年度(5年間)					交付対象	長野県東御市										
計画の目標	海野地区は、歴史的なたたずまいを継承しながら、住民にとっては快適でゆとりのある居住環境の向上、来訪者にとっては魅力ある観光施設の再整備に取組みます。県地区は市民の交流、生涯学習の拠点として市役所周辺のコミュニティ機能の再構築と防災機能の充実に取組みます。こうした取組みによって東御市の重点施策である「安全・安心、元気なまちづくり」、「市民と行政の協働による元気なまちづくり」を目指します。																
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>海野宿における観光客数を232,400人/年(H22～H26)に維持</li> <li>市役所周辺施設の交流人口を98,164人/年(H24)から110,400人/年(H28)に増加</li> </ul>																
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値					備考						
						当初現況値 H24当初	中間目標値 H26末	最終目標値 H28末									
	海野宿駐車場で乗降客数で測定する。					232,400人/年	232,400人/年	232,400人/年									
	中央公民館、子育て支援センターの利用者数で測定する。					98,164人/年	104,300人/年	110,400人/年									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,968.1百万円	A	2,968.1百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	〇%					
<b>〇実施体制、実施時期(①海野地区都市再生整備計画(フォローアップ)②県地区都市再生整備計画(事後評価))</b>																	
実施体制						実施時期											
①東御市建設課において実施する。						①平成29年1月②平成29年3月											
②東御市都市再生整備計画事業評価委員会において実施する。						公表の方法											
						・東御市ホームページに掲載、東御市建設課窓口にて閲覧。											
1. 交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
A-1	都市再生	一般	東御市	直接	東御市	海野地区都市再生整備計画	A=51ha 道路整備等	東御市	H26	H27	H28	H29	H30	781.5			
A-2	都市再生	一般	東御市	直接	東御市	県地区都市再生整備計画	A=8.8ha 道路整備等	東御市						2,186.6			
合計													2,968.1				
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
										合計					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

**2. 事後効果の発現状況、目標値の達成状況**

I. 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

- ・海野バイパスの整備により、海野宿内の車両通行量は減少した。しかし、全体的な数値は減少したものの、観光客数の増加に伴い、海野宿内への高齢者の送迎などの車の乗り入れによる車両通行量は増加したと考えられる。
- ・中央公民館の改修により、交流拠点としての機能が向上し、市民大学講座やサークル活動等での利用者が増加した。
- ・子育て支援センターの改修により、施設空間・機能が拡充され、子育て支援相談や講座等の利用者が増加した。
- ・計画区域一帯の公共施設の耐震改修により、広域避難施設として防災面における機能が向上した。

II. 定量的指標の達成状況	指標① 海野宿における観光客数を232,400人/年(H22～H26)に維持	最終目標値	232,400人/年	目標値と実績値に差が出た要因	海野宿への来訪や回遊を促す施設・仕組みを整備したこと、また、うんのわなどのオープン、海野宿ひな祭りの開催、NHK大河ドラマ真田丸によって海野宿への注目が高まったことで観光客数が増加した。(フォローアップにて数値確定)
			最終実績値	246,100人/年	
	指標② 市役所周辺施設の交流人口を98,164人/年(H24)から110,400人/年(H28)に増加	最終目標値	104,300人/年	目標値と実績値に差が出た要因	施設の整備・改修及びサービス機能の再配置により、中央公民館・子育て支援センターともに地域コミュニティ強化、地域づくりのための交流拠点としての機能が向上し、講座やサークル活動等での利用者が増加しているが、基幹事業である道路事業(県・東深井線)が平成29年度完了予定のため未計測となる。(平成29年度以降フォローアップを実施予定)
		最終実績値	—		

III. 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現(必要に応じて記述)

**3. 特記事項(今後の方針等)**

- ・今後も海野宿の歴史や風習を継承していくため、継続的なイベントの開催や人材育成の支援を行う必要がある。
- ・観光ガイドの内容を充実させるため、観光客とのコミュニケーションの充実を図る必要がある。
- ・市民ニーズの変化に対応できる体制づくりとソフト事業への取組みを強化する。
- ・市民交流機能、子育て支援機能、防災機能の充実を活用して、安全・安心な協働のまちづくりを推進し、若年層の定住促進等につなげていく。

**4. 事後評価原案の公表**

<b>公表方法</b>	①市ホームページ ②都市整備部建設課窓口	<b>意見の受付方法</b>	担当課への郵送、直接持参、電子メール、FAX
<b>公表期間・公表日</b>	①② 平成28年11月21日～平成28年12月5日	<b>担当部署</b>	都市整備部建設課(都市再生整備計画事業主管課)
<b>意見受付期間</b>	平成28年11月21日～平成28年12月5日	<b>住民の意見</b>	

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	市民との協働を目指した安全・安心の元気なまちづくり	交付対象	長野県東御市
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度 (5年間)		

